

大町市東山周辺地域観光整備計画(案)に対してお寄せいただいたご意見の概要と考え方

	ご意見	考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> • 大きな夢・大規模リゾート誘致も構想に加えて欲しい。 • 東山からの眺望、景観は世界的にも超一級。 • アジアの観光需要、訪日外国人の伸びをみれば、米国巨大資本が調査に入っても不思議ではなく、積極的に売り込むべき。 • 欧米人の休暇はリラックス目的の長期滞在型が主であり、北アルプスと仁科三湖、時折市街地や安曇野わさび田、松本城などへ足を延ばす。そんな休日の魅力。 	<p>本計画は、上位計画である市観光振興計画における重点施策プロジェクトに掲げる①観光資源の磨き上げ②ブランド力の向上③滞在型周遊観光の推進の考え方に則り、東山地域の将来的なビジョンや大町市の観光ゾーニングを意識して立案しています。第2章には大町市観光の現状として、東山周辺地域の観光の現状と課題をする中で、整備計画に必要な視点と、そのためにやるべきことを3点あげております。</p> <p>訪日外国人観光客の増加が急速に進んでいることは認識しておりますが、まずは既存の核となる観光資源を磨き上げ、東山のイメージを分かりやすく市場に訴求して行くための整備を行うことを最優先に考えてまいりたいと思います。</p>

大町市東山周辺地域観光整備計画(案)に対してお寄せいただいたご意見の概要と考え方

ご意見	考え方
<p>1.鷹狩り山を大町市街から望んで山頂に足を運んで見たくするような施策がほしい。 ⇒山頂の大町市街側面直下にある道路(昔の山頂アプローチ道)を整備し道路脇に桜・楓など色づく落葉樹帯(桜、楓など)つくる。また、落葉樹帯に車を止めて山頂まで歩きながら景観を楽しめる遊歩道をつくる。</p> <p>2.山頂までの道路は景観感動へのアプローチであり、山頂の感動をより高める効果がある。アプローチ途中での期待感を高める景観場所をつくる。 ⇒山岳博物館と壺松寺からのアプローチ道路に車を止めて山並みを傍観できる広場づくりと木々の伐採を行う。</p> <p>3.市街・県外者向け案内は新たなターゲットを定めるより先ず市内に足を踏み入れている黒部ダム観光者に絞り込むべき。 ⇒扇沢の関電アメニックス駐車場に東山ゾーンと市街の案内を出す。 ⇒扇沢から市内までの道路に東山ゾーンの標示を出し、市内交差点にはゾーンへの誘導標識を出し山岳博物館まで誘導する。</p> <p>4.自然景観(北アルプスを望む)は刻々変化し、すばらしい景観がいつでも観光者の感動を満たしてくれるとは限らない。季節変化の景観も分からない。そこで年間四季の景観映像を作成し、山頂で大画面映像をみる場所をつくる。この映像を見せることで季節ごとの観光動機を喚起できるのではないか。 ⇒現在有る展望塔の中を改装、一階を大画面映像室にして二階・三階を余韻に浸れる喫茶室にする(予算が許せば建て変えがベスト)。又、山岳博物館をはじめ市内の飲食店や各施設で流すようにすることで、より効果が期待できる。 ⇒山頂のみの経済効果では限定的となるので市街地への誘導が必要。展望塔内で温泉郷や市街地の情報を発信し滞在時間の延長を図る。</p> <p>5. 岳都大町のidentityは東山から見る蓮華岳、爺ヶ岳、鹿島槍ヶ岳、五龍岳からなる3000m級の連山を一望できることである。長期戦略として山岳博物館周辺に広い駐車場を開発し、ロープウェイで鷹狩山頂までの変化する景観観光も考えられる。実現性の有無は5ヶ年計画の成否にかかると思われるので、出来るだけ数量的なデータで5ヶ年計画実施前後を評価すべきと考える。従って実施する前にP.D.C.Aのサイクルをどこの誰が行うか明確にしておく必要がある。</p> <p>6. 大町市観光ゾーニング区分はそれぞれ、すばらしい観光資源に成り得る可能性を持っている。何故すばらしい観光資源が大きなブランドとして成長出来ないかを考えると、ゾーニング間の距離的な条件にあると思われる。国内の観光振興成功事例をみると成功理由に集積距離の短いことがあげられている。大町市内のゾーニング間距離がどこの成功事例に較べても極めて長いことが大きな課題といえる。そこで可能性の高い東山ゾーンのブランド化を集中的に進め、成功事例として市民が共有できれば次のステップへと弾みがつくのではないか。 ⇒黒部ダム観光者の50%が大町市内の案内不十分との調査結果を得ているので、大きな投資を伴わない誘導案内は全ゾーンに適用しても良いのではないか。</p>	<p>本計画の第5章「主要な整備プロジェクト群」第6章「核となる施設のハード整備方向性」において、対外的に地域又は施設をアピールするためのイメージ戦略として「鷹狩山＝地域の顔」として、重点的に整備を強化し、まずは鷹狩山の観光の魅力を十分に高め、市場への訴求力を高めることとしております。</p> <p>本計画立案に当たっては、東山地域で活躍されている方々の意見等をお聞きし計画に反映するワーキンググループ懇話会を開催し意見等をお聞きしたところですが、山頂までのサイン標識不足の声が強くありました。また桜等の植樹の意見などもありました。山頂までの道路整備等にあたっては、希少植物等もあることから、樹木の伐採や、新たな植樹に関して、関係団体と慎重に協議調整のうえ計画に沿って進めてまいりたいと思います。</p> <p>北アルプスの眺望と里山景観の素晴らしさは、誰もが認めるところであり、その景観の美しさを映像で伝えようと現在、市立山岳博物館3階では、景観映像を上映しているところです。</p> <p>「鷹狩山＝地域の顔」として重点的に整備を強化する予定ではありませんが、限られた予算で実施をするため、計画に沿って、関係団体等と調整し優先順位を決めて整備を進めてまいりたいと思います。</p> <p>黒部ダムを訪れる観光客は毎年約100万人となっており、その何パーセントでも東山を訪れていただくことが重要と考えております。本計画の第3章「将来ビジョン達成のための重点戦略」で大町市観光ゾーニング案を示してありますが、大町市全体の観光ゾーニングや、それに合わせた重点ターゲットの設定等については、次期観光振興計画の策定時に再検証し、併せて市内の各ゾーンへの誘導標識等も検討したいと考えています。</p> <p>また本計画策定後、この計画がどのように実施されているかの検証方法については、この計画において追加記載することとします。</p>

大田市東山周辺地域観光整備計画(案)に対してお寄せいただいたご意見の概要と考え方

	ご意見		考え方
3	<p>意見① P14 ■課題解決の方向性 ・市内の飲食・物販事業者等と連携した飲食提供機能の創出 ⇒市内の飲食・物販事業者等と連携した消費機会の創出 理由：飲食提供機能と断定するのではなく、「消費機会創出のためのハード・ソフトの整備を推進することが不可欠」としていることによる。</p> <p>意見② P15 上から3行目 段階的に整備を促進⇒整備を推進として、P13(2)に記載がある通り、向上や強化が喫緊の課題であるのだから、段階的とは言わず、市が強く押し進めるよう記載してもらいたい。</p> <p>意見③ P15 上から11行目 「小中学生への総合学習機会の提供等」と記載があるが、例えば、「小中学生が地域を理解し、郷土を愛する教育機会の創出等の」と具体的に記載したらどうか？</p> <p>意見④ P15 ■課題解決の方向性 トレッキングルートの…と記載されている2行をまとめて、 ・ロングトレイルルートの整備(路面、案内・説明看板、安全策等)と記載してもらいたい。 また、上記意見③を取り入れていただき、教育分野と連携した「教育プログラム」の創出と記載願いたい。</p> <p>意見⑤ 昨今の登山ブームにより、気軽に山小屋泊やテント泊を取り入れた軽登山やトレッキングを望むユーザーが多く見られることから、鷹狩山の廃屋を山小屋風に改修することと、鷹狩山と中山高原にテントスペースを整備したらどうか？夜景や星空、朝日の眺望は素晴らしく、是非体験してもらえるよう整備してほしい。また、滞在することによって「もう一箇所」の回遊観光に繋がる。</p>		<p>本計画の策定にあたり、第1章においてその趣旨を記載しておりますが、観光スポットを数多く有する中で、とりわけ東山地域の整備について、5年の計画として策定することは、市としても強く押し進めていかなければならない整備事業と認識しているからこそであります。なお、ご指摘いただいた文言の表記については、再度内容を検討する中で調整したいと考えております。</p> <p>また、教育の現場では総合学習など様々なアプローチによる学習が行われていることから、幅広い視野での登載とし、具体的な学習手法等などは、現場のニーズに合わせた展開を柔軟に実施できればと考えております。</p> <p>鷹狩山の廃屋(遊休施設)の活用については、市が現在進めている芸術文化振興策の一つとしても検討しておりますが、廃屋も含めた周辺スペースの整備を、幅広く市民等に活用できるよう整備を検討することとしています。</p>
4	<p>「東山の低山地帯を歩く」として、市街地と水田地帯及び工業地域を下に見て、さらに正面に聳え立つ北アルプスを見ながら、はるか南の安曇野市方面を望むトレッキングコースを造成したらどうか。</p> <p>① 県天然記念物 居谷里湿原 ② 木崎湖及び同温泉 ①からの帰りコース ③ 霊松寺入口及び霊松寺 ④ 山岳博物館 ③からのコース ⑤ 鷹狩山→三原高原及び湿原</p>		<p>本計画の第5章「主要な整備プロジェクト群」において3つの重点戦略の一つに、「山好き層のリピーター化を推進するためのコンテンツ拡充と連携」として、ハード、ソフト両面から計画を示しております。</p> <p>ご提案のあるような、モデルコースの選定を関係団体等と調整し、情報発信していくことは重要であると考えます。</p> <p>また、情報発信にあっては、時代のニーズに合った情報をリアルタイムに提供できるような仕組みを仕掛けていくことも重要と考えております。</p>

大田市東山周辺地域観光整備計画(案)に対してお寄せいただいたご意見の概要と考え方

	ご意見	考え方
5	<p>鷹狩山・山岳博物館 に関して アルプスの展望が売りであるが、知名度が低いのではないか。例えばYouTubeで鷹狩山や山岳博物館を検索してもアップ数・再生回数共少ない。YouTubeのアップ傾向や再生回数はイベントのヒントになる。 鷹狩山 と山岳博物館を一つの施設 と考えるべき。また、交通アクセスが悪すぎる。特に鷹狩山に関しては車で上るのは辛いと思う人も多いと思う。山岳博物館から鷹狩山へのバス 運行 と山岳博物館入場料 でバスへ乗車出来ればお互いの価値が上昇する可能性があるのではないか。 信濃大町駅から山岳博物館までを物語性のある歩きたい道として整備出来れば面白いと思う。 鷹狩山の山頂にある神社や静御前伝説などを取り混ぜたストーリー・小説・漫画などがあれば面白いと思う。 その他、SNS・YouTubeなどを使い、小さなイベントを山岳博物館や鷹狩山で数多く行い口コミ で知名度を上げるべき。</p> <p>美麻 地区 ぽかぽかランド ランド に関して 白馬-長野の中間地点であり地の利をもっと生かすべきではないか。白馬へ向かうインバウンドゲストを取り込め取り込める可能性が高い。バスから一目見て寄りたと思う物を作る事。インバウンドゲスト(ヨーロッパヨーロッパヨーロッパ系)が喜ぶ侍・忍者体験・関連の物やB級グルメやジビエ料理など考えても面白いのではないか。</p>	<p>本計画の第5章「主要な整備プロジェクト群」5-2域内の回遊を促進するための案内サインや情報連携体制の整備の中でハード・ソフト両面からの整備計画を示しておりますが、ご指摘のとおり山頂へのサインが不足していたり、道路整備や駅からの2次交通等の課題がございます。 道路整備した後の維持や、情報発信など、この計画の実施に当たっては、市民や関係団体との協働が不可欠と考えております。SNS等時代にのニーズに合わせた情報発信の工夫を関係団体が参加できる形で取り組みたいと考えております。</p> <p>本計画の第6章「核となる施設のハード整備方向性」6-2滞留施設(飲食・宿泊)において、ぽかぽかランド美麻及び屋内運動場「美遊」について計画を示しておりますが、ぽかぽかランド美麻については、今夏の全面営業再開に向けて改修工事を進めております。 今回の改修を契機として、立地条件を活かした道の駅としての機能を強化し、インバウンドも含めた観光客のニーズに対応できるよう整備を検討します。</p>

大町市東山周辺地域観光整備計画(案)に対してお寄せいただいたご意見の概要と考え方

ご意見	考え方
<p>鷹狩山整備に関して 観光ゾーニングの基本的考え方にあるように、このスタンスを基本に、常にかげがえのない自然に配慮した事業にしてほしい。また、整備にあっては地形を無理に整形することなく、山は山らしくそのままの姿を見せることが肝要</p> <p>眺望の改善について ・基本的に1ヶ所にとどまってすべての眺望を楽しもうとすることに無理がある ・紅葉を楽しめる樹木の植樹も必要 ・伐採にあたっては、樹種の特徴(樹高・芽吹き・紅葉・利用価値)などを十 駐車場整備について 山頂駐車場の舗装について、透水舗装で行い、雨水で山が荒れないように配慮願いたい 山頂への道路拡張は必要か？ バスや一般車等の誘導を工夫すれば、山頂への道路拡張は不要と思われる</p> <p>6 主要な整備プロジェクトについて 大町市側の林間歩道沿いに咲く四季の山野草を楽しめるような誘導策が必要で、当該地域の計画的な整備と手入れを事業に追加</p> <p>野草の植栽について 鷹狩山には長野県の準絶滅危惧種に指定されているササユリやササバギンランなど貴重な植物がある。在来種を保全・復活させ、園芸種は植栽しないことを基本に本計画にある花壇の整備や四季の花咲く野草の植栽を念頭に入れた整備をしていただきたい。</p> <p>その他字句等の誤りと思われる箇所 P15 下から5行目 植物説明版 → 植物説明板 P18 整備にあたっての障壁の冒頭：旧八坂側と大町市側とで・・・ 旧がつか場合は、旧八坂村側と「村」が必要ではないか</p> <p>参考資料 P47、48の表題 八坂基礎インフラは美麻の間違い</p>	<p>本計画の基本方針は「北アルプスの眺望と里山景観を通じた癒しと楽しみの提供」としております。したがって、この里山景観＝自然に配慮した整備とするは当然のことと捉えております。</p> <p>本計画策定にあたって、東山地域で活動されている市民の方にワーキンググループ懇話会にご参加いただき、意見要望等をお聞きして計画に反映しております。また、東山地域にご指摘のような希少植物が生息していることも認識しております。</p> <p>計画実施にあっては、ご指摘いただいたことを参考に、地元関係者と十分協議調整してまいりたいと考えております。</p> <p>内容を再検討し、必要に応じ修正します。</p>

大町市東山周辺地域観光整備計画(案)に対してお寄せいただいたご意見の概要と考え方

ご意見	考え方
<p>7</p> <p>【問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR力不足 ・駐車場、道路、交通機関の整備 ・飲食店の不足 <p>【東山周辺地域に整備していきたいもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレッキングコース ・山岳博物館の専門性・魅力の発信 ・ボルダリング施設の充実 ・登山関連施設（衣料、道具、情報提供） ・飲食店 ・公園の設備の充実さ ・鷹狩山展望台（電灯、階段、外内壁、周辺環境、駐車場、屋上） <p>【大町市の魅力をより発揮するために】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大町市の顔となる資源は自然。 ・自然を活かした観光拠点を整備していくことが大町市の観光を発展させるための大前提。 ・一からテーマパークを作るのは難しいけれど、今ある周辺地域の観光拠点を整備し自然に寄せていくことは可能。 ・山岳博物館、鷹狩山、大町温泉郷など既存施設を活かすために、各施設間の交通機関、駐車場の整備は絶対条件。 ・重点ターゲットは既に登山の楽しさを知っており、それを目的としてくる専門性の高い人（登山客）と、写真や温泉、食事などを通じて自然と触れ合うことを目的として訪れる人（観光客）。 ・登山客については自ら興味を持ち訪れているので、重点的な年代等は設けず彼らの満足度が向上するよう工夫を凝らしていく必要がある。 ・観光客の年代としては、2,30代のカップル・夫婦とシニア世代の数を増やしていくことが大切。・特に2,30代はインターネットを使いSNSや口コミ等の情報を拡散してもらえ効果も考えた際にも有益なターゲット。 ・個人的な感想ではあるが、こんなに近くで雪山を眺めることが出来る県があるだろうか。大町市内にいと当たり前前に視界に入る北アルプスは、なかなか見ることができない迫力ある景色である。旭町の交差点を147号で北へ向かい道路の頂上から見る北アルプスは絶景。 ・大町市の魅力を発信している人たちがいるが、その多くは県外から来た人に多いと思う。中には自然に感動し、大町市へ移住し活動している人たちもいる。そんな民間の業者や個人と大町市が共同して、大町市の魅力を発信することができたら、より大きな影響を与えることができるのではないかと思う。古民家再生、プロモーション、喫茶、食、アートなど多方面からの意見を集める場があれば、大町市の活性化や今後についてよい意見交換ができると思う。 	<p>いただいたご意見の問題点、整備項目等については、計画立案にあたり、東山地域で活動する市民の方々に構成し意見等を伺うワーキンググループ懇話会でも多く出され、日頃、市民の方が東山に対して共通の問題点として認識されていると改めて実感したところです。また、整備にあっては、市立大町山岳博物館と長野県山岳総合センターという他にはない施設があることから、計画に沿いながら、これらの施設と連携して整備を進めていきたいと考えています。</p> <p>本計画の基本方針は「北アルプスの眺望と里山景観を通じた癒しと楽しみの提供」としております。課題となっている道路整備等についても、計画の方針に沿いながらも、関係団体等と十分検討したうえで自然に配慮した整備を進めたいと考えております。</p> <p>情報発信については、ターゲットや時代のニーズに合った手法を取り入れることはもちろんですが、その管理や実際にかかわりのある方たちの情報が反映できるような仕組み（プラットフォーム）を構築できるよう検討します。</p> <p>今回、ワーキンググループ懇話会でご協力いただいた方々も、大町市へ移住し活躍されている方々からご意見を多くいただいております。この計画が策定された後、どのように実施していくかが重要となります。そのためには、ご意見のとおり、行政のほか、市民・民間の方との協働が必要と不可欠と認識しております。本計画の推進・検証体制につきましては、追加登載することとします。</p>

大町市東山周辺地域観光整備計画(案)に対してお寄せいただいたご意見の概要と考え方

	ご意見	考え方
8	<p>・毎年鷹狩山・霊松寺紅葉トレッキングの参加者の感想は、樹木や植物の説明と人と人のふれ合いが良かったと多くの人からいただいている。</p> <p>・すばらしい景観を見てもらうことも大事な観光資源だが、鷹狩山しか味わえない素朴な自然を伝える取り組みも忘れないようお願いしたい。</p> <p>・山岳博物館の役割も広げ、トレッキングガイドの養成も必要なのではないか。</p>	<p>本計画では、第3章「将来ビジョン達成のための重点戦略」において、基本方針として「北アルプスの眺望と山郷景観を通じた癒しと楽しみの提供」としており、大町市観光ゾーニングとして、他の観光スポット等と機能・特長により区分することを提案しています。東山周辺地域ならではの自然景観が楽しめるよう、また自然あつての東山を認識し後世にこの自然が保たれるよう、整備には自然環境に十分配慮して進めていきたいと考えています。</p> <p>トレッキングガイドの養成については第5章5-3「山好きの層のリピート化を促進するためのコンテンツ拡充と連携」において提案してございますが、必要なソフト事業として、山岳博物館や既にガイドをされている方とも連携をしながら進めたいと考えております。</p>
9	<p>1 仁科神明宮は最も静かな国宝と言われる。春、秋、特に秋の神事として神楽殿でのお神楽は素晴らしく、多くの人々、特に子供たちにも郷土の行事として鑑賞して欲しい。巨木や6月には玉アジサイが咲き、観光案内にもっと生かしてほしい。</p> <p>2 沿道に山の案内をおおまびょんやライチョウが案内しているような案内板を集落と集落の間の途切れた場所に、見晴スポットとして設置してほしい。曾根原から閨田にかけて山の木々のすそには初夏「ガマズミ」の白い花に覆われ、珍しい「ふしぐろせんとう」の赤い花も見られ、できれば市民の力で沿道に花を植える。自治会ごとの協力も得てフラワーロードとして景観に花を添える取組みがあればと思う。</p> <p>3 手洗いの設置について 社歴史資料館（社公民館）の前庭周辺に設置してほしい。掃除の問題もあるため、公の場所が望ましいと考える。</p> <p>4 山岳博物館は岳の町にふさわしい施設で、美術館のない街で米客を案内する一番の施設。ただし、神楽町からの狭い入口を整備し、案内板をもっと目立つように工夫する必要がある。</p> <p>春は桜の美しいスポットであり、桜の管理も必要。</p> <p>鷹狩山への散策コースの整備について、山頂には季節の野草が植えられて「アサギマダラ」などの蝶が飛来している。この周辺が雄大なアルプスのパノラマにマッチした自然豊かな場所となるよう望んでいる。</p> <p>唐花見温泉は学術的にも貴重な場所。市民はもとより、自然志向の人々の観光を兼ねた学習の地として保全が求められるが、湿地の乾燥が進んで植生が変わってきている。入り口部分も高齢者や車椅子でも入れるよう整備が必要のほか、木道の広い場所に木のベンチの設置を希望する。また、市民の協力を求めることも大切。</p> <p>健康志向が高まる中、健康都市としても大町の山岳風景は何よりの財産。市民とともに自慢のウォーキングコースと温泉などの組み入れたコースを募集して、他のまちにはない観光地としての魅力的な発信が必要。</p>	<p>本計画の第5章「主要な整備プロジェクト群」でも、重点戦略として「域内の回遊を促進するための案内サインや情報連携体制の整備」、「山好きの層のリピート化を推進するためのコンテンツ拡充と連携」として、案内サインの整備やトレッキングにおけるハード・ソフト両面より提案をしています。</p> <p>東山で活動する市民の方々と構成するワーキンググループ懇話会においては、トレッキングコースや周遊コースのモデルコースを提案し発信するよう提案もございました。</p> <p>本計画の基本方針は「北アルプスの眺望と里山景観を通じた癒しと楽しみの提供」としてあります。課題となっている道路整備や案内サインの設置等についても、計画の方針に沿いながらも、関係団体等と十分検討したうえで自然に配慮した整備を進めたいと考えております。また、トイレの新設やベンチの設置等、多くの要望がございますが、限られた予算を使い、効果的な整備とするため、核となる施設の整備を中心に、計画に沿いながら、この5年間で優先順位をつけスピード感を持って整備を実施したいと考えております。</p> <p>ご意見のとおり、この計画の実施にあつては、行政のほか、市民・民間の方との協働・協力が必要と不可欠と認識しております。本計画の推進・検証体制につきましては、追加登載することとします。</p>